

第20回日本慢性期医療学会・福井大会 演題発表一覧

	演題番号	演題名	発表者氏名	所属	都道府県
1	B-1-1	回復期病棟患者の歩行自立判定の目安	鹿児島愛美	中洲八木病院	徳島県
2	B-1-2	回復期リハビリテーション病棟患者の機能予後に関する要因	柳原聡	鶴巻温泉病院	神奈川県
3	B-1-3	充実したリハビリテーションの提供によるADLの変化について	山崎秀平	浜寺中央病院	大阪府
4	B-1-4	足底感覚刺激がバランス機能に及ぼす影響～症例検討～	足田恵美	中洲八木病院	徳島県
5	B-1-5	脳血管障害患者におけるトイレ動作自立の決定要因	加藤啓介	山田病院	岐阜県
6	B-1-6	日中のトイレ誘導を増やす オムツからトイレへ	太田知美	宮地病院	兵庫県
7	B-2-1	円滑な退院に向けての取り組み ～入院から退院までのタイムスケジュールシートを見直して～	前川依里	光風園病院	山口県
8	B-2-2	在宅復帰を実現するための退院支援を考える ～退院後調査を行なって～	河村名恵	西福岡病院	福岡県
9	B-2-3	FIMによる退院後ADL調査	植田真代	福山記念病院	広島県
10	B-2-4	当院回復期リハビリテーション病棟再入院患者に関する調査	佐光裕	中洲八木病院	徳島県
11	B-2-5	より良い退院指導を行うために 退院後のアンケート調査を実施してみよう	小林彩也子	小平中央リハビリテーション病院	東京都
12	B-2-6	回復期リハビリテーション病棟における脳血管障害患者の自宅退院規定因子 平成24年度診療報酬・介護報酬同時改定への問題提起	石森卓矢	美原記念病院	群馬県
13	B-3-1	「在宅復帰に向けての介護職の取り組み」	諸見里真充	オリブ山病院	沖縄県
14	B-3-2	退院後自主練習プログラムが定着した一症例	篠原智哉	橋本病院	香川県
15	B-3-3	認知症の重症度とADL能力との関連	梶本寿洋	愛全病院	北海道
16	B-3-4	当院回復期リハビリテーション病棟入院患者の ケア・リハビリ介入によるADL変化の特徴	星川真由美	世田谷記念病院	東京都
17	B-3-5	高齢者世帯の自宅退院支援について考える	中村明子	大宮共立病院	埼玉県
18	B-4-1	回復期リハビリテーション病棟における薬剤師の積極的な取り組み ～当院における持参薬の適正使用について～	老松亜希子	札幌西円山病院	北海道
19	B-4-2	内服薬自己管理能力判定基準の作成と試み	佐尾亜希	山口平成病院	山口県
20	B-4-3	当院回復期リハビリテーション病棟における経管栄養患者の経過	加藤理恵	信愛病院	東京都
21	B-4-4	回復期リハビリテーション病棟における介護福祉士の役割 ～チームの一員としての情報発信～	内田真里	花川病院	北海道
22	B-4-5	患者への統一したケアを目指した情報伝達	大城茜	勝山病院	沖縄県
23	B-4-6	過去と現在の看護を通して ～急性期と回復期のQOLを考える～	嶋田亜由美	原病院	福岡県
24	B-5-1	看護・介護スタッフのポジショニング知識・技術の向上にむけた取り組み ～係によるポジショニング指導の結果から見えてくる課題～	松岡亮	刈谷豊田総合病院 東分院	愛知県
25	B-5-2	長期気管切開チューブ抜去後の発声訓練 ～チーム医療でのアプローチ～	佐々木友範	大久野病院	東京都
26	B-5-3	廃用から実用へ！ ～チーム戦略による劇的な嚥下機能改善を認めた症例～	藤木成美	桜十字病院	熊本県
27	B-5-4	「食べたい」を叶えるために、チームでの関わりを重視した一例	山岡加奈	手稲ロイヤル病院	北海道
28	B-5-5	胃瘻造設患者への関わりを通して ～多職種協働によるQOL向上へ～	足立由加理	永生病院	香川県
29	B-5-6	富家病院におけるNST介入	牧内真琴	富家病院	埼玉県
30	B-6-1	介護記録の改善 ～診療録への導入と情報の共有～	藤川みほ	花の丘病院	三重県
31	B-6-2	癌を告知され希死念慮をもつ患者への関わり方	宇野薫	苫小牧東病院	北海道
32	B-6-3	終末期における高齢者の尊厳と家族とのかかわり ～チームアプローチについて～	宮川利恵	鴻江病院	熊本県
33	B-6-4	療養病棟における看護師との協働の取り組みについて	斎藤真澄	春江病院	福井県
34	B-6-5	回復期リハビリテーション病棟における、 心理士の役割と現状について	山本陽子	宇部西リハビリテーション病院	山口県
35	B-6-6	「施設」を知ろう！ ～病棟スタッフの施設に対する理解を深めたい～	井上直樹	おさゆきリハビリテーション病院	福岡県
36	B-7-1	看護師－介護士のチーム制導入過程での介護主任の経験	内田美保	北斗わかば病院	静岡県
37	B-7-2	笑顔と元気を取り戻そう ～快適な職場作りを目指して～	川上志津子	宮地病院	兵庫県
38	B-7-3	「看護職と介護職への“協働”に関する意識調査を行って」 ～そこから見えてきたチーム医療の大切さ～	中村洋介	駒井病院	群馬県
39	B-7-4	介護職員の離職率減少への取り組みとその成果	菅村聡志	老人保健施設 平成クラブ	兵庫県
40	B-7-5	ストレスがケアに与える影響	黒岩弘巳	草津こまくさ病院	群馬県
41	B-7-6	当院が被災して業務復興までで考えたこと	岩下陽一郎	阿蘇温泉病院	熊本県
42	C-1-1	重心計を使った座位訓練の効果について 座位のセルフ・モニタリングに関する一考察	荻由梨香	高田病院	鹿児島県
43	C-1-2	当院のシーティング・クリニックの現状と課題 ～シーティング・クリニックに要する期間に着目して～	小山徳人	定山溪病院	北海道
44	C-1-3	片手駆動型リクライニング式車椅子の駆動獲得に向けた取り組み	堀皓貴	長島中央病院	三重県
45	C-1-4	安定した座位保持が困難な患者への端座位訓練を通じた関わりの効果	倉井奨	安来第一病院	島根県

第20回日本慢性期医療学会・福井大会 演題発表一覧

	演題番号	演題名	発表者氏名	所属	都道府県
46	C-1-5	シーティング調整を行うことで獲得できた生活の拡がり ～他職種を交え離床を目指した取り組み～	奥村浩一	埼玉セントラル病院	埼玉県
47	C-1-6	当院におけるポジショニング指導について	長内あゆみ	尾野病院	青森県
48	C-2-1	当院リハビリテーション科における認知症を合併する患者の状況	足立明美	初富保健病院	千葉県
49	C-2-2	認知症高齢者に関わる上での理学療法士としての視点	三田拓	志村大宮病院	茨城県
50	C-2-3	当院入院患者様のQOLと担当PTが考えるQOLの相違からみえてきたこと	志村将	定山溪病院	北海道
51	C-2-4	筋力低下予防に対する病棟リクリエーションの効果	田中景子	松山リハビリテーション病院	愛媛県
52	C-2-5	介護療養型病床におけるADL指標の検討	福林健一	温泉リハビリテーション いま泉病院	富山県
53	C-2-6	慢性期高齢者の活動状況と環境設定	石亀智洋	青梅慶友病院	東京都
54	C-3-1	神経難病患者様への維持的リハビリテーションの取り組み	西岡恵	札幌西円山病院	北海道
55	C-3-2	当院における筋萎縮性側索硬化症患者への初めての関わり	奥野晶子	中谷病院	兵庫県
56	C-3-3	療養病床におけるパーキンソン病患者さまへの作業療法の関わり	齋藤翔	定山溪病院	北海道
57	C-3-4	医療療養病床における「離床」への取り組み	新藤ひとみ	芦ノ牧温泉病院	福島県
58	C-3-5	継続は力なり ～リクライニング車椅子へ～	大西志保	長島中央病院	三重県
59	C-3-6	機能的歩行指数(FGI)の開発と日常生活における 移動手段の実用性及び実行状況との検証	平尾興輔	ケアホーム豊中	大阪府
60	C-4-1	医療療養病床におけるリハビリテーション提供時間の違いによる 医療の質への影響について	中島雅弘	永生病院	東京都
61	C-4-2	医療療養病床における作業療法士の役割と期待について ～病棟職員へのアンケートより～	畠山友美	三才山病院	長野県
62	C-4-3	移動動作自立度による透析患者の自宅退院率について ～非透析患者との比較～	中西信敬	清恵会三宝妈院	大阪府
63	C-4-4	透析患者における日常生活活動能力の実態調査 ～療養型病床入院患者とのFIM比較～	大谷公人	清恵会三宝妈院	大阪府
64	C-4-5	東日本大震災ボランティアにおける当院の取り組み ～福島県猪苗代での活動報告～	三谷有司	札幌西円山病院	北海道
65	C-5-1	慢性期病院の卒後教育見直しへの取り組み 経験年数の高い中途採用者を対象として	奥八千代	いなみ野病院	兵庫県
66	C-5-2	目指せ100%!! ～院内勉強会出席率向上の取り組み～	山田理絵	永井病院	高知県
67	C-5-3	介護職年間教育計画による継続教育効果の再評価	笹川夏樹	南昌病院	岩手県
68	C-5-4	ヒューマンスキル教育への試み ～看護・介護体験研修の効果を検証する～	鬼山美穂	刈谷豊田総合病院 東分院	愛知県
69	C-5-5	チーム医療における介護職の自己教育性と継続教育の方向性	村松洋子	南昌病院	岩手県
70	C-5-6	病棟チームワーク作りの改善への期待 キーワード:看護・介護職員の日々の思い、良いチーム作りの阻害因子	三井尚子	上條記念病院	長野県
71	C-6-1	慢性期病院の新入院患者の病態と転帰	大和薫	博愛記念病院	徳島県
72	C-6-2	介護療養型医療施設新規入院患者の病態今昔	峯廻攻守	札幌西円山病院	北海道
73	C-6-3	回復期リハビリテーション病床における病棟薬剤業務の推進とその必要性について ～セコム提携病院薬剤部会の取り組み～	樋島学	鶴巻温泉病院	神奈川県
74	C-6-4	療養型病棟における薬剤師常駐の必要性 ～慢性期病院における病棟業務と薬剤管理指導の充実を目指して～	星崎寛子	鶴巻温泉病院	神奈川県
75	C-6-5	申し送り廃止にむけての取り組み	下深迫千穂	国分中央病院	鹿児島県
76	C-6-6	Dr sクラーク導入後の業務改善について	秋山祐子	平成病院	兵庫県
77	C-7-1	維持期重症脳血管疾患患者の自宅外出及び自宅外泊を可能とする要因の検討	足立雄介	鶴巻温泉病院	神奈川県
78	C-7-2	液体経管栄養剤から半固形経管栄養剤への変更に関する検討	柳川宏美	あきしま相互病院	東京都
79	C-7-3	呼吸器センター運営の工夫	安田広樹	桜十字病院	熊本県
80	C-7-4	災害時における手動吸引方法の検証	横山樹	駿河西病院	静岡県
81	C-7-5	品質管理室の役割と今後の課題について	沢田石良子	外旭川病院	秋田県
82	C-7-6	療養病棟の倫理課題の傾向 ～看護者の倫理綱領を用いた事例検討より～	徳田知子	金沢脳神経外科病院	石川県
83	D-1-1	リスク管理を要する長期臥床傾向にあった症例に対するリハビリテーションの一例 ～ターミナル期で離床させる意味～	川下勇太郎	埼玉セントラル病院	埼玉県
84	D-1-2	療養病床におけるがんターミナル期の介護士の係わりについて	鈴木美穂	オアシス湘南病院	神奈川県
85	D-1-3	患者の「食べたい」という思いを叶える為の援助 ～ターミナルカンファレンスを通して～	渡辺教子	宮本病院	茨城県
86	D-1-4	QOLの向上を目的とした乳がん術後患者への取り組み	渡部友紀子	中谷病院	兵庫県
87	D-1-5	肺癌を呈した、終末期患者へのQOLの関わりに難渋した一症例	宮澤亜紀	手稲ロイヤル病院	北海道
88	D-1-6	地域終末期緩和ケアネットワークにおける療養病床の役割	藤木啓	藤木病院	宮崎県
89	D-2-1	家族の想いを取り入れた終末期看護 ～ダウンヒルコースにおけるカンファレンスを通して～	野中美香	中澤病院	長崎県
90	D-2-2	神経難病患者の障害受容の困難さと思いの変化 ～臨床心理士との関わりの中で～	鈴木敦子	富家病院	埼玉県

第20回日本慢性期医療学会・福井大会 演題発表一覧

	演題番号	演題名	発表者氏名	所属	都道府県
91	D-2-3	終口摂取が困難となってきた患者へのチームでの取り組み ～家族の力を借り、好物を取り入れた一事例～	猪俣恵里	札幌西円山病院	北海道
92	D-2-4	認知症病棟におけるエンドオブライフケア	毛利亜沙実	温泉リハビリテーションいま泉病院	富山県
93	D-2-5	最期まで美しく・基本ケアのさらなる充実に向けて	薄井美樹	青梅慶友病院	東京都
94	D-2-6	その人らしさを目指した看取りへの取り組み	佐野朋子	南高井病院	愛媛県
95	D-3-1	終末期リハビリテーションに対する意識調査	宮腰大樹	南小樽病院	北海道
96	D-3-2	最期までその人らしく過ごすために作業療法士としてできること	田中三絵	定山溪病院	北海道
97	D-3-3	非癌高齢者終末期における皮下輸液下での予後の検討	津島久孝	京都民医連中央病院	京都府
98	D-3-4	当病棟介護職が行うエンゼルケアの見直し 清拭からシャワー浴に変更して	友利梨奈	おもろまちメディカルセンター	沖縄県
99	D-3-5	エンゼルケアの新しい展開 ～ご遺体の損傷を最小限にとどめるために看護師ができること～	富永未来	北淡路病院	兵庫県
100	D-3-6	療養型医療施設における介護従事者の死生観 ～当院における看取りケアの課題を考察する～	松村謙	福井リハビリテーション病院	福井県
101	D-4-1	終末期看護に対する看護師の意識調査 ～デスクカンファレンスを通して～	左右田友美	蒲郡厚生館病院	愛知県
102	D-4-2	看取りを語る:Part2 ～デスクカンファレンスの洗練化とケアへの還元～	大野律子	青梅慶友病院	東京都
103	D-4-3	患者・家族への対応で苦慮したり負担を感じた事例の検討 デスクカンファレンスを通して	狩野哲次	光ヶ丘病院	富山県
104	D-4-4	心に残るエンゼルケア ～家族の思いを聞いたこと～	永田規子	はいなん吉田病院	静岡県
105	D-4-5	終末期医療に関わる家族へのアンケート調査を行って	高橋裕子	協和南病院	茨城県
106	D-5-1	一緒に野菜を育ててみませんか? ～感覚全てで四季を感じて～	中村まさみ	総泉病院	千葉県
107	D-5-2	当院の森林療法の取り組み ～四季折々の自然を感じて～	伊藤貴博	総泉病院	千葉県
108	D-5-3	触れる・撫でるケアの導入 ～癒しのアプローチを～	山村紀代美	西山堂慶和病院	茨城県
109	D-5-4	"あー"でつながる心のキャッチボール ～利用者の思いに寄り添って～	新保望	城北病院	石川県
110	D-5-5	生活の質、そして人生の質の向上 ～できる機能を活かしたQOLの向上を目指して～	白川麻美	博悠会温泉病院	鹿児島県
111	D-5-6	病棟から不快臭をなくそう!! ～排泄物処理方法の改善とその効果～	平田奈保美	原病院	福岡県
112	D-6-1	芸術音楽療法の活用 キーワード:癒し	松下和隆	北九州八幡東病院	福岡県
113	D-6-2	音楽を聴くことで高齢者に現れる効果について考える	石塚美沙子	南小樽病院	北海道
114	D-6-3	不眠、興奮状態のある患者へのアプローチ ～音楽療法・タクティルケアの効果について～	西幸子	緑水会病院	大阪府
115	D-6-4	院内ギャラリーに求められるもの	渡邊二葉	角田病院	群馬県
116	D-6-5	睡眠への手助け ～就寝前のホットミルクでの効果について～	家守敦子	柴田病院	岡山県
117	D-6-6	3種の精油をブレンドしたアロマセラピーの効果 ～2症例の報告～	武内愛	高知城東病院	高知県
118	D-7-1	頸髄損傷者における後頸部温電法の効果 ～疼痛緩和を目指して～	重近晃太	高知病院	高知県
119	D-7-2	認知症患者の周辺症状の緩和に向けた取り組み	島田翔平	安来第一病院	島根県
120	D-7-3	反応が乏しい患者への積極的コミュニケーションがもたらす効果	河瀬多恵子	柴田病院	岡山県
121	D-7-4	療養生活を楽しく ～離床を試みて～	鈴木由恵	尾洲病院	愛知県
122	D-7-5	介護療養型医療施設から医療療養病棟への転換	武藤達也	永生病院	東京都
123	D-7-6	現場看護師の視点から病院移転を終えて ～見えてきたもの～	岩間真由美	京都民医連中央病院	京都府
124	E-1-1	褥瘡に対する当院の取り組み ～チーム医療に焦点を置いて～	檜垣隆博	北九州湯川病院	福岡県
125	E-1-2	褥瘡ゼロを目指して ～当院での取り組み～	高村真実	平成記念病院	大阪府
126	E-1-3	みんな知っている!? 褥瘡対策検討委員会活動	溝手香里	旭ヶ丘病院	岡山県
127	E-1-4	一般病棟における褥瘡予防の変遷と取り組みについて	日向道子	藤岡市国民健康保険 鬼石病院	群馬県
128	E-1-5	「褥瘡ゼロ」に向けての取り組み	木瀬由恵	北摂中央病院	兵庫県
129	E-1-6	褥瘡対策はチーム力	鳥津和代	奈良春日病院	奈良県
130	E-2-1	褥瘡件数を減らすための取り組み - 3つの"しき" -	谷美奈代	池田病院	石川県
131	E-2-2	当院での創傷・褥瘡治療戦略 ～栄養面からの考察～	川田侑	くぼかわ病院	高知県
132	E-2-3	褥瘡発生減少に向けたケア技術の再学習と実践継続への取り組み	金澤智恵子	南昌病院	岩手県
133	E-2-4	体圧分散マットレスの効果と課題 ～簡易式体圧測定器を利用して～	小川敏寛	立神リハビリテーション温泉病院	鹿児島県
134	E-2-5	「陰圧創傷治療システム(V.A.C.ATS治療システム)の使用経験」	国吉武志	西崎病院	沖縄県
135	E-2-6	褥瘡リスク者のシーティングの妥当性 ～当院における検討項目の抽出～	小林浩之	埼玉セントラル病院	埼玉県

第20回日本慢性期医療学会・福井大会 演題発表一覧

	演題番号	演題名	発表者氏名	所属	都道府県
136	E-3-1	ポジショニングについての考察	三嶋敬一	新札幌パウロ病院	北海道
137	E-3-2	多職種介入によるポジショニングが褥瘡予防にもたらす効果について	上妻真由美	香椎原病院	福岡県
138	E-3-3	褥瘡の除圧を目的とした体位変換への取り組み	西脇彩美	長島中央病院	三重県
139	E-3-4	看護助手の腰痛予防と緩和への取り組み ～腰痛体操とスライディングシートの活用を実施して～	大奥浩司	協立温泉病院	兵庫県
140	E-3-5	外国人看護師候補者受入れの取り組み	久世光洋	博愛記念病院	徳島県
141	E-3-6	EPAを受け入れての現状と課題	宮澤美代子	永生病院	東京都
142	E-4-1	当院における看護師の育成・教育に関する一考察 ～当院で実施した看護業務レディネステストの結果から～	川島鮎美	坂本病院 本院	大阪府
143	E-4-2	経管栄養投与後の嘔吐について ～嘔吐の減少への取り組み～	浮田有子	浜寺中央病院	大阪府
144	E-4-3	看護・介護協働による「チームナーシング」を導入して ～患者に寄り添うケアを目指して～	田中信子	聖ヶ丘病院	北海道
145	E-4-4	87歳で頸髄損傷となった患者の看護 フィンクの危機モデルを活用して	東盟子	初富保健病院	千葉県
146	E-4-5	SOAPからフォーカスチャータリングに記録を変更して 看護職・介護職の視点の変化	有澤正至	サンバリー福岡病院	富山県
147	E-4-6	生活の質って??? ～人工呼吸器装着中、首ふりでしか思いを伝えられない患者の 気持ちに添う関わりを大切に～	今村紀美子	洞爺温泉病院	北海道
148	E-5-1	まずはトライ！皮膚の改善を目指して	辻野真理奈	長島中央病院	三重県
149	E-5-2	乾燥肌・掻痒感のある患者へのアプローチ ～保湿・抗菌効果のある素材の使用を試みて～	樽木籠子	永生病院	東京都
150	E-5-3	難治性創傷へのアロマオイルの有効性	井上里美	松山リハビリテーション病院	愛媛県
151	E-5-4	日常ケアによる皮膚状態の改善を目指して ～乾皮症の患者様に私達介護職が出来ること～	石川美貴	北九州小倉病院	福岡県
152	E-5-5	スキンケアの取り組みと職員への意識付け	早川愛	国分中央病院	鹿児島県
153	E-5-6	胃瘻造設患者のスキンケア ～皮膚のトラブル”ゼロ”を目指して～	永野幸	北九州安部山公園病院	福岡県
154	E-6-1	注入患者の皮膚トラブル減少を目指して	須崎智子	湯田内科病院	鹿児島県
155	E-6-2	酸素カニューレによる耳介部の発赤・亀裂の予防方法 ～シリコン製の器具を使って～	藤田星昊	緑水会病院	大阪府
156	E-6-3	鼻腔ケアの必要性の明確化と効果的なやり方について ～鼻毛・鼻腔ケアどうしてますか～	青木節子	若杉病院	福岡県
157	E-6-4	天日干したお茶っばによるハンドロールの効果	川野晃生	豊和病院	三重県
158	E-6-5	リンゴ酢で簡単巻き爪ケア	杉江礼子	木戸病院	愛知県
159	E-6-6	足病変の早期発見・探索の共有化 ～フットチェック表の作成と効果について～	志村愛美	富家千葉病院	千葉県
160	E-7-1	バイバイ！皮膚トラブル	不動裕子	呉記念病院	広島県
161	E-7-2	チームとしての介護士の役割について考えたこと ～落屑の多い患者の洗身方法の見直しをきっかけにして～	佐藤幸之助	きせがわ病院	静岡県
162	E-7-3	人工呼吸器装着患者の定期入浴の実践報告	高橋洋子	北斗わかば病院	静岡県
163	E-7-4	安心な爪ケア用品の工夫	金子進一	大宮共立病院	埼玉県
164	E-7-5	ようこそ！水城温泉へ ～笑顔があふれる入浴タイムをめざして～	鳥浩介	水城病院	福岡県
165	F-1-1	患者の状態に合わせた体交表の作成 ～他職種との関わり～	米道千明	西能みなみ病院	富山県
166	F-1-2	療養病棟でチームアプローチを実施し くも膜下出血後遺症患者のADLが拡大した症例	青木宏憲	秩父生協病院	埼玉県
167	F-1-3	今日の情報を明日に繋げる チームケアを目指して	岡山範子	鳴門山上病院	徳島県
168	F-1-4	病棟移動ケアの取り組み ～視覚的効果の活用～	久保貴照	戸畑リハビリテーション病院	福岡県
169	F-1-5	看護管理者としての人材育成への取り組み ～中途入職者研修に取り組んで～	金澤めぐみ	永生病院	東京都
170	F-2-1	CVカテーテル自己抜去予防の工夫 ～創作覆衣を試みて～	中田智子	千木病院	石川県
171	F-2-2	当院における耐性菌対策 ～分離菌検出状況の最近の動向と取り組み～	河野悦子	北九州古賀病院	福岡県
172	F-2-3	慢性期医療における高齢女性熱発の原因としての 腎盂腎炎・膀胱炎予防生活指導の経験	小林正喜	永生病院	東京都
173	F-2-4	療養病棟における病棟薬剤業務の実際	大谷知子	鳴門山上病院	徳島県
174	F-2-5	注射薬の配合変化を防ぐためのデータベース作成とpH変動スケールの活用	輪嶋亮太	聖ヶ丘病院	北海道
175	F-3-1	膀胱留置カテーテル抜去に向けてのクリティカルパス作成の試み	八坂元子	長崎みどり病院	長崎県
176	F-3-2	職員健康増進事業の取り組みについて ～わかばフィットネスクラブを立ち上げて～	中川哲朗	ふくの若葉病院	富山県
177	F-3-3	慢性期患者の肺炎予防に効果的なチームアプローチ	鬼澤千江子	小川南病院	茨城県
178	F-3-4	頸部回旋自動運動が身体に及ぼす影響	稲積大地	原病院	福岡県
179	F-3-5	眼圧値の変動に関連する因子と緑内障一次予防対策解明のための分析疫学的研究 ～1年間の縦断研究～	吉田正雄	杏林大学 医学部	東京都

第20回日本慢性期医療学会・福井大会 演題発表一覧

	演題番号	演題名	発表者氏名	所属	都道府県
180	F-5-1	維持期におけるがんのリハビリテーションの可能性	西尾香苗	新戸塚病院	神奈川県
181	F-5-2	ターミナルケアにおける音楽療法 ～家族の参加を前提とした取り組み～	那須貴之	坂本病院 本院	大阪府
182	F-5-3	エンゼルケアについての取り組み	藤井泰子	ナカムラ病院	広島県
183	F-5-4	グリーフケアに繋ぐエンゼルケアへの取り組み	山元真美	加治木温泉病院	鹿児島県
184	F-5-5	療養型病棟における外出支援のあり方 ～その人らしく生きるために～	安里健二郎	北中城若松病院	沖縄県
185	G-2-1	経鼻胃チューブ固定方法の統一と、適切な固定テープの選択による業務の改善	小林郁子	重井医学研究所附属病院	岡山県
186	G-2-2	手指の拘縮による湿潤・臭気の軽減を目指して	三分一恭子	ナカムラ病院	広島県
187	G-2-3	入浴利用者の満足度調査を実施して ～サービス向上と自立支援型介護を考える～	稲川弘一	池端病院	福井県
188	G-2-4	水虫対策 ～クレーム対応に組み込んで学んだこと～	山谷秀之	光ヶ丘病院	富山県
189	G-2-5	ラップ療法の取り組み	池田加奈代	温泉リハビリテーション いま泉病院	富山県
190	G-3-1	多職種連携を軸とした褥瘡治療への取り組み - 褥瘡入院における地域連携室の役割 -	高田婦美子	公立南砺中央病院	富山県
191	G-3-2	地域における療養型に求められる役割とは	板橋美佐	諏訪中央病院	長野県
192	G-3-3	退院支援の意識調査について ～可視化できる退院支援ツールの必要性～	田辺祐己	内田病院	群馬県
193	G-3-4	介護療養型医療施設におけるケアプランの評価 コミ記録システムのレーダーチャートを利用して	岸水久子	三次病院	広島県
194	G-3-5	定山溪福祉バス ～福まち事業との共催から始まった新たな取り組みについて～	北條拓也	定山溪病院	北海道
195	G-6-1	病棟における環境整備について ～スタッフの意識改善・向上による環境の変化～	嘉屋陽路	ナカムラ病院	広島県
196	G-6-2	医療療養病棟における健康回復過程に影響を与える因子の分析 ～国際生活機能分類(ICF)の視点を利用して～	東栄美子	芳珠記念病院	石川県
197	G-6-3	重度認知症病棟に勤務する看護・介護職のストレスの現状	霜江喜久美	ナカムラ病院	広島県
198	G-6-4	職場環境・待遇改善への取り組み - 働き続けられる職場づくりを目指して -	青山房子	聖ヶ丘病院	北海道
199	G-6-5	薬局調剤等による薬剤費の節約	長坂美穂	小川南病院	茨城県
200	G-7-1	安心・安全なケアを提供するために ～危険予測トレーニングを導入して～	泊賢治	鳴門山上病院	徳島県
201	G-7-2	当院の転倒予防に対する今後の課題 ～リハビリスタッフの意識調査からみえてきたもの～	初井直也	原病院	福岡県
202	G-7-3	車椅子移乗時の下肢損傷の防止 ～フットレストカバーの試作～	横山健二	流杉病院	富山県
203	G-7-4	古武術介護を身につけるトレーニング方法の研究	山本祐一郎	魚津病院	富山県
204	G-7-5	当院リハビリテーション科での診療実入力における 入力間違いの発生に関する問題と対策について	高橋茂	公立七日市病院	群馬県
205	H-1-1	長期急性期病床における嚥下障害への取り組み	新家尚子	世田谷記念病院	東京都
206	H-1-2	多様な人が使用できるスプーン・フォークを試みて	後藤正寛	定山溪病院	北海道
207	H-1-3	胃瘻栄養から経口摂取へ - 「また、たべさせてね」が聞けるまで -	千葉瑛斗	定山溪病院	北海道
208	H-1-4	胃瘻患者のQOLと家族の気持ち	前田三和子	聖ヶ丘病院	北海道
209	H-1-5	入院時摂食嚥下スクリーニングテストに対する意識調査と有効性 ～チェック表を用いて～	湯浅孝光	安来第一病院	島根県
210	H-1-6	嚥下造影専用車いすの作製	久家一陸	原土井病院	福岡県
211	H-2-1	当院におけるアルブミンと他の栄養指標との関係	上野麻位子	坂本病院 本院	大阪府
212	H-2-2	混乱している嚥下食の呼称	米内山清貴	聖ヶ丘病院	北海道
213	H-2-3	食べる気持ちを大切にしたい ～食事内容改善により見えてきた事～	山岸美貴	聖ヶ丘病院	北海道
214	H-2-4	増粘剤の使用法に対しての施設での取り組み	田代準一	特別養護老人ホームくやはら	群馬県
215	H-2-5	専門的口腔ケアの取り組み - はっぴーかを目指して -	中嶋千恵	奈良春日病院	奈良県
216	H-3-1	療養病床におけるリハビリテーションの役割 ～自宅退院にこだわりを持つ当院の現状からの考察～	池谷聡毅	新戸塚病院	神奈川県
217	H-3-2	ADL・コミュニケーション能力向上を目指した認知症高齢者への介入	中塚雄太	埼玉回生病院	埼玉県
218	H-3-3	対人交流に拒絶的であったが、関わりを継続したことで改善がみられた一症例	馬場晶子	札幌西門山病院	北海道
219	H-3-4	当院回復期病棟入院患者に関する調査 ～高齢患者の在宅復帰の要因を探る～	森下寛史	大宮共立病院	埼玉県
220	H-3-5	在宅での排泄介助が軽減した一例 オムツからトイレ排泄へ	窪田玲子	島田病院	富山県
221	H-3-6	考える介護者が行うオムツ交換	神田美和	三次病院	広島県
222	H-5-1	療養型病院における転倒について 自己認識と動作能力の差	中原義人	聖ヶ丘病院	北海道
223	H-5-2	関節可動域の実態調査と予防・対策の試み～第1報～	阿部裕一	よみうりランド慶友病院	東京都
224	H-5-3	骨折受傷後の著明な意欲低下に対する介入方法の検討	鈴木裕美	西山堂慶和病院	茨城県

第20回日本慢性期医療学会・福井大会 演題発表一覧

	演題番号	演題名	発表者氏名	所属	都道府県
225	H-5-4	維持期における離床についての一考察	小西隼矢	坂本病院 本院	大阪府
226	H-5-5	維持期病院に入院している高齢者の身体活動と睡眠に関する調査	吉川央人	袋井みつかわ病院	静岡県
227	H-5-6	「療養病棟におけるリハビリ介入による変化に対する評価方法の検討」	春山真介	新戸塚病院	神奈川県
228	H-6-1	朝のレクリエーション ～当院での離床の試み～	梶本英彦	住吉浜病院	広島県
229	H-5-2	個別にレクリエーションを試みて	尾崎翔子	京都南西病院	京都府
230	H-5-3	認知症状の内服調整に難渋し、抗てんかん薬が有効であった3症例	多田宜正	永生病院	東京都
231	H-5-4	認知症状や社会性の改善に、音楽を用いた回想法を取り入れた効果	田端祥子	公立八鹿病院	兵庫県
232	H-5-5	認知症高齢者の看取りケアを考える ～職員へのアンケート調査から見えてきた看取りケアへの課題～	井澤みす江	安来第一病院	島根県
233	I-1-1	身体拘束ゼロへのあゆみ ～リスクマネジメントデータとの比較～	大野倫範	藤民病院	和歌山県
234	I-1-2	スピーチロックに対する病棟の取り組み ～現状把握と対策～	野末博美	天竜すずかけ病院	静岡県
235	I-1-3	心の通ったケアを目指して ～委員会活動と、その担当領域～	松山愛	定山溪病院	北海道
236	I-1-4	当院における身体拘束廃止委員会の取り組み	松澤敦子	坂本病院 本院	大阪府
237	I-1-5	身体拘束体験から患者へかかるストレスを考える ～身体拘束された患者のストレス軽減を目指して～	寺本かおる	山口平成病院	山口県
238	I-1-6	身体抑制をなくす為の新たな取り組み ～患者の自尊心尊重を重視するリハビリテーション病院を目指して	恩庄美樹	千里リハビリテーション病院	大阪府
239	I-2-1	ミトン着用患者の抑制解除 ～排泄状況に合わせたケアを通して～	都築徳	刈谷豊田総合病院 東分院	愛知県
240	I-2-2	本当にベットの柵は必要ですか？ ～必要な人に適切なベットの柵の使用を目指して～	金子新一郎	内田病院	群馬県
241	I-2-3	「笑顔を取り戻した彼女」 ～身体拘束ゼロの効果～	綿貫里香	内田病院	群馬県
242	I-2-4	抑制のない入院生活環境を考える ～自傷行為を繰り返す患者のケースを通して～	興山友美	富家病院	埼玉県
243	I-2-5	PTEGへの移行で抑制が少しでもはずせるケアを目指して	稲田千穂	いけだ病院	千葉県
244	I-3-1	当院における感染症起因菌と感受性の検討	高野徹	天竜すずかけ病院	静岡県
245	I-3-2	全職員を対象とした感染チェックテストによる感染教育の効果 ～正しい知識が患者・職員を救う～	山下知子	江藤病院	徳島県
246	I-3-3	当院における感染対策の実際について ～職員へのアンケートをもとに考える～	西窪昌子	上條記念病院	長野県
247	I-3-4	回復期リハビリテーション病院での薬剤師業務の展開	太田はるみ	千里リハビリテーション病院	大阪府
248	I-3-5	療養病床での病棟薬剤業務への取り組み	臼井沙耶香	総泉病院	千葉県
249	I-3-6	療養病床における病棟薬剤業務の実践に向けて ～iPadを用いた病棟薬剤業務システムの構築～	石川晃生	大宮共立病院	埼玉県
250	I-4-1	当院における高齢者の服薬コンプライアンス改善への取り組み	瀧澤昌司	愛全病院	北海道
251	I-4-2	ハイリスク薬の適正使用に関する当院の取り組みについて	五十嵐友香	札幌西円山病院	北海道
252	I-4-3	ワーファリン投与患者に及ぼす経管栄養中のビタミンKの影響について	廣中芳美	弥刀中央病院	大阪府
253	I-4-4	簡易懸濁法の導入	大谷一貴	多摩川病院	東京都
254	I-4-5	血中アルカリホスファターゼ値は 抗てんかん薬zonisamide (ZNS)の血中濃度と正の相関を示す	山田誠	緑成会病院	東京都
255	I-4-6	転倒・転落と薬剤との関連性	粟津寿美子	市比野記念病院	鹿児島県
256	I-5-1	気管内肉芽によりスピーチカニューレが抜去困難となった1例	平敏裕	西日本病院	熊本県
257	I-5-2	廃用症候群を引き起こした患者に対する取り組み	大賀久美子	千里リハビリテーション病院	大阪府
258	I-5-3	くも膜下出血後、長期経過の中で装具療法を通じ重度尖足の改善を認めた症例	河野博之	大久野病院	東京都
259	I-5-4	前交通動脈瘤破裂により重度記憶障害を呈したにも関わらず、 日中独居が可能となった一症例	日下寛子	千里リハビリテーション病院	大阪府
260	I-5-5	切断のリハビリテーション ～祭りへの復帰を目指して～	高安創	千里リハビリテーション病院	大阪府
261	I-5-6	世田谷記念病院の挑戦 ～回復期病棟立ち上げにおけるマトリクス組織のメリットと課題～	二瓶太志	世田谷記念病院	東京都
262	I-6-1	回復期病棟開設に伴い、職種間の認識の有無についてアンケート調査～第2報～	吉田哲也	富家千葉病院	千葉県
263	I-6-2	当院におけるリハビリテーションスタッフの夜勤業務に関する意識調査	坂田晋一	世田谷記念病院	東京都
264	I-6-3	「365日 1時間の楽しいレクリエーション」 ～ベッドの上で、何しよん？～	西平由美	呉記念病院	広島県
265	I-6-4	ベットサイドで1・2・3っ！！ ～完全個別対応によるレクリエーションを通して～	太田真由美	水城病院	福岡県
266	I-6-5	目標を持った集団レクリエーションを試みて	橋田香織	ケアホーム豊中	大阪府
267	I-6-6	みんなの笑顔が見たいから～さぁ今日も頑張るゾ！～	藪中博章	京都民医連中央病院	京都府
268	I-7-1	開口困難な患者の口腔内を清潔に保つための取り組み ～口を開いてくれないし、まあこれくらいでいっか！を無くそう～	吉森理恵	りほく病院	山梨県
269	I-7-2	当院における口腔ケアチームの取り組みと今後の課題	小松優	上條記念病院	長野県

第20回日本慢性期医療学会・福井大会 演題発表一覧

演題番号	演題名	発表者氏名	所属	都道府県
270	I-7-3 アセスメントシートの導入を試みた口腔ケアへの取り組み	蓬来ひとみ	荻原みさき病院	兵庫県
271	I-7-4 口腔ケアの充実 ～正しく統一されたケアを提供し、スタッフのスキルアップを目指して～	山田弘美	北九州中央病院	福岡県
272	I-7-5 個別性を考慮した口腔ケア方法の検討 ～統一した口腔ケアの確立に向けての取り組み～	丸山美和子	公立八鹿病院	兵庫県
273	I-7-6 下口唇咬傷がある患者の対応の一症例 ～スプリントの使用～	立入久仁美	嵯峨野病院	京都府
274	I-8-1 効果的な口腔ケアの手技の確立に向けての検討	貴島真佐子	わかくさ竜間リハビリテーション病院	大阪府
275	I-8-2 保湿による口腔内環境改善への取り組み	近藤晃代	ベルビアノ病院	大阪府
276	I-8-3 顔面・口腔マッサージと口腔湿度の関連 ～キソウエッターによる測定結果の分析と考察～	上野富美代	温泉リハビリテーション いま泉病院	富山県
277	I-8-4 口腔ケア拒否が強い患者にモアブラシ(商品名)を試みて	泉理恵	信愛病院	東京都
278	I-8-5 口腔ケアの実施に向けて	高藤万里子	温泉リハビリテーション いま泉病院	富山県
279	I-8-6 口腔ケア1日2回実施の取り組み ～ケア中の患者嘔吐誘発をきっかけにケアを見直して～	大嶽晴美	きせがわ病院	静岡県
280	J-1-1 多職種連携の為に ～医事課スタッフとして出来ること～	大倉美穂	柴田病院	岡山県
281	J-1-2 医療区分の枠組から見た'傷病等によりリハビリテーションが必要な状態、 該当患者の入院経過	小松聖偏	永井病院	高知県
282	J-1-3 当院での経験を踏まえた1サイクル10年以上維持可能な電子カルテシステムの検討	多田斉	原土井病院	福岡県
283	J-1-4 慢性期療養型病院の電子カルテ導入 ～ITに対する職員の理解の向上と使いやすいシステムに向けて～	江田真敏	総泉病院	千葉県
284	J-1-5 電子カルテシステムのモバイル利用に向けた検討 ～ITのさらなるメリットを求めて～	磯部智行	美原記念病院	群馬県
285	J-1-6 可動式ワゴンを用いて	梶山ヒトミ	姫野病院	福岡県
286	J-2-1 退院カルテ処理の迅速化への取り組み	宮本あずさ	泉佐野優人会病院	大阪府
287	J-2-2 「医療人の一員として～ケアワーカーの記録と業務改善～」	井上明子	宇都宮病院	佐賀県
288	J-2-3 目標管理制度導入の評価 ～職員意識調査より～	栗原れい子	北斗わかば病院	静岡県
289	J-2-4 救急カートの見直し	大城育美	春木病院	大阪府
290	J-2-5 医療病棟スタッフの震災に対する勉強会実施の効果	佐々木千佳	南昌病院	岩手県
291	J-2-6 職員の災害に対する意識調査	横島豪	上町病院	高知県
292	J-3-1 当院における長期急性期病床の現状報告	武久敬洋	世田谷記念病院	東京都
293	J-3-2 神経難病患者の入院医療の実態と経済的評価 - 超・準重症児(者)入院診療加算の意義 -	内田智久	美原記念病院	群馬県
294	J-3-3 病院経営における薬剤課補助員の役割	末吉茉那	北中城若松病院	沖縄県
295	J-3-4 未集金回収業務 - 年金管理においての成功例 -	大山功	永井病院	高知県
296	J-3-5 CO2排出削減を目指して - ダブル・エコプロジェクトの試み(第2報) -	清水博昭	美原記念病院	群馬県
297	J-3-6 TQMセンターの活動報告 ～病院機能評価受審を中心に～	境野博久	永生病院	東京都
298	J-4-1 当院におけるMRI撮影の見直し ～頭部MRAのパラメータ変更による画質の変化～	中村涉	東浦平成病院	兵庫県
299	J-4-2 当施設における高齢者の貧血について	丹治直子	老人保健施設 平成クラブ	兵庫県
300	J-4-3 重度後遺症を合併した脳血管障害患者における C反応性プロテイン値と中期予後の検討	猿原大和	湖東病院	静岡県
301	J-4-4 持続ってますか? 24時間 ～気管切開療養者の持続吸引を導入してその効果と今後の期待について～	新垣悟	北中城若松病院	沖縄県
302	J-4-5 PEG前CTにおける3D作成の評価とこれからの活用	南田寿康	国分中央病院	鹿児島県
303	J-4-6 開発途上国の医療ボランティアを目指して	吉原久美代	国分中央病院	鹿児島県
304	J-5-1 療養型病院における要介護高齢者のトイレ移乗能力の低下要因についての検討	川合美枝	袋井みつかわ病院	静岡県
305	J-5-2 自立支援に向けて～転倒・転落防止への第一歩～	鳥井智佳	泉ヶ丘病院	福井県
306	J-5-3 当院における短時間通所リハビリテーションの現状と課題	辰巳卓史	奈良厚生会病院	奈良県
307	J-5-4 介護予防プログラムを利用してADL全介助の状態から歩行自立まで改善した一症例	池澤由花	老健リハビリよこはま	神奈川県
308	J-5-5 はつらつ体操教室の効果について	堀田賢二	安藤病院	愛知県
309	J-5-6 歩かなければ、歩けなくなる	田沢勝也	老健リハビリよこはま	神奈川県
310	J-6-1 介護予防の役割 ～運動で生活の不安解消～	宮下貴之	多摩川病院	東京都
311	J-6-2 いびきを減らして皆で安眠 ～介護士としてのアプローチ～	川島孝悦	富家千葉病院	千葉県
312	J-6-3 皮膚水分計を用いた高齢者の皮膚水分量と身体所見の関連性	佐々木理恵	鶴巻温泉病院	神奈川県
313	J-6-4 通所リハビリでの脳トレーニング導入 ～日常生活活動の変化～	南彰人	ウェル青葉	滋賀県
314	J-6-5 嗅覚認知課題を用いたリハビリテーション介入の 軽度認知症高齢者に対する認知機能への効果について	牧迫美穂子	新京浜病院	東京都

第20回日本慢性期医療学会・福井大会 演題発表一覧

	演題番号	演題名	発表者氏名	所属	都道府県
315	J-7-1	在宅における運動習慣の実態調査	小野敬子	橋本病院	香川県
316	J-7-2	iPadでデイサービスが変わる	大形泰紀	特別養護老人ホーム 淀川暖気の苑	大阪府
317	J-7-3	通所リハビリにおける在宅生活の時期に応じたプログラムの検討	矢船由佳	池端病院	福井県
318	J-7-4	デイケアの認知症利用者様への学習効果の検討 ～数字並べを通して～	黒田明男	豊中平成病院	大阪府
319	J-7-5	高齢介護であるが在宅復帰を望んだケース	小山智則	城山病院	東京都
320	J-7-6	住み慣れた自宅で家族と過ごす時間を作るために ケアマネジャーの立場からできること	武井祐三子	玉島病院	岡山県
321	J-8-1	老健における在宅復帰支援システム ～強化型老健としての運営実態～	田村和幸	介護老人保健施設 アルボース	群馬県
322	J-8-2	独居高齢者への在宅支援	鈴木真弓	いわき湯本病院	福島県
323	J-8-3	COPDで人工呼吸器装着のまま在宅へ移行した患者の一例	濱愛子	大阪病院	大阪府
324	J-8-4	北欧と日本のケア付き高齢者住宅の現状の比較 ～ Aging in Place の観点から～	宮城島正行	聖隷クリニック南大沢	東京都
325	J-8-5	視力障害があり家族への依存心が強い患者 ～在宅復帰後の調整～	白鳥知代	いわき湯本病院	福島県
326	J-8-6	訪問リハビリテーションにおける家族ケアについて	瀬川敦史	博愛記念病院	徳島県
327	K-1-1	認知症ケアの向上を目指して ～認知症ケアマッピングをサービス計画に活かす～	河合ゆり	湖東病院	静岡県
328	K-1-2	認知症高齢者の心理的適応のための臨床動作法の適用	櫻田千早	大内病院	東京都
329	K-1-3	誰があなたのことを知っていますか？ ～あなたが認知症になったとき～	長野綾	橋本病院	香川県
330	K-1-4	徘徊高齢者の支援の一症例	樋口英昭	ヴィラ四日市	三重県
331	K-1-5	ゆとりある生活作りへのサポート ～認知症に伴う徘徊へのアプローチ～	中澤恵	ウェル青葉	滋賀県
332	K-1-6	患者により添う介護 ～患者の声が聞きたい～	吉田亜紗美	刈谷豊田総合病院 高浜分院	愛知県
333	K-2-1	認知症患者の看護とケア ～ケアを見直すだけでBPSDはここまでよくなる～	古賀悦子	光風園病院	山口県
334	K-2-2	発声・発語機能を失った認知症患者とのコミュニケーションを通して学んだこと	岩瀬加代子	刈谷豊田総合病院 高浜分院	愛知県
335	K-2-3	認知症ケアにおけるストレスとやりがい	渡辺久美子	温泉リハビリテーション いま泉病院	富山県
336	K-2-4	外来における認知症事例の対応と経過報告	小林美奈子	京浜病院	東京都
337	K-2-5	重い知的障害のある自閉症の方への支援	前川恵美	障がい者支援施設だんけのその	大阪府
338	K-2-6	若年性認知症の進行に伴う排泄障害に対するケア ～失敗のない排泄を目指して～	大谷昌史	ふるさとの家	兵庫県
339	K-3-1	認知症独居高齢者の在宅支援 ～認知症対応型通所介護の立場から～	岩本ちえみ	池端病院	福井県
340	K-3-2	重心動揺計から見た認知症例について	上原總一郎	聖ヶ丘病院	北海道
341	K-3-3	認知症アプローチ、デイホームを通じて在宅施設復帰が可能となった症例 ～切れ目のない介護と医療の連携～	久保田彩都	介護老人保健施設 平成アムニティ	徳島県
342	K-3-4	認知症患者痛みの評価について ～アビ-痛みスケ-ルを試みて～	鈴木華津子	大宮共立病院	埼玉県
343	K-3-5	認知症高齢者に対する作業療法介入 ～認知症短期集中リハビリを実践して～	楠瀬紗由	永井病院	高知県
344	K-3-6	認知症患者のリハビリにおける評価方法の選択 第一報 HDS-Rによる評価の意義	芦田陽子	八尾はるとふる病院	大阪府
345	K-4-1	「リラクゼーション空間を目指して一回想法を取り入れた環境作り」	谷口光雄	光ヶ丘病院	富山県
346	K-4-2	認知症患者の掻痒軽減への取り組み	松竹梓	嵯峨野病院	京都府
347	K-4-3	認知症患者にタッチケアを試みて	藤野有佳	大内病院	東京都
348	K-4-4	昼夜逆転傾向にある利用者様への対応検証 ～夜間安眠をめざして～	水本ゆかり	泉佐野優人会病院	大阪府
349	K-4-5	昼夜逆転のある患者さまへの援助 ～日内リズムを整えることの重要性～	野元奈保子	高田病院	鹿児島県
350	K-4-6	重度認知症患者に対する生活改善を目指して ～経口摂取への取り組みの中で見えてきたもの～	林里美	池端病院	福井県
351	K-5-1	「足が冷えていたら眠れないよね！」 ～足浴がもたらす効果について～	日置隼弥	和恵会記念病院	静岡県
352	K-5-2	不眠・不隠に対してラメルテオンの効果	山田直人	緑成会病院	東京都
353	K-5-3	タクティールケアを用いての重度認知症患者に対しての介入	堀田友紀	北淡路病院	兵庫県
354	K-5-4	非薬物療法の効果 ～タクティールケアを試みて～	立野亨	南淡路病院	兵庫県
355	K-5-5	認知症高齢者への集団レクリエーション有効性の検討	下境田雄麻	国分中央病院	鹿児島県
356	K-6-1	ノルディックウォークにより前方突出現象が改善した一例	神保優子	介護老人保健施設 老健ふじさか	大阪府
357	K-6-2	足趾機能とバランス機能との関係 ～より簡便な足趾機能練習方法について～	穴戸遥	いわき湯本病院	福島県
358	K-6-3	視覚的プロンプトにより自発的行動を強化した症例	屋田茂樹	初富保健病院	千葉県
359	K-6-4	視覚的フィードバックを用いた立ち上がり訓練によって 麻痺側荷重量が増加した一症例	永井真梨子	京都南西病院	京都府

第20回日本慢性期医療学会・福井大会 演題発表一覧

	演題番号	演題名	発表者氏名	所属	都道府県
360	K-6-5	歩行遊脚時の下肢伸展パターンに対するHALの使用効果 ～頸髄損傷により不全麻痺を呈した症例～	桐内壮栄	柴田病院	岡山県
361	K-6-6	重度四肢麻痺患者にプラスチック短下肢装具を使用してADL能力向上に繋がった一例 ～教科書だけじゃなくて、私を見て！～	池田啓也	富家病院	埼玉県
362	K-7-1	手指拘縮改善の試み - 手作り装具装着の効果 -	中野美雪	天竜すずかけ病院	静岡県
363	K-7-2	関節拘縮患者の胃瘻カテーテル交換前に バランスボールエクササイズは交換を容易にするか？	禰宜田亜耶	刈谷豊田総合病院 高浜分院	愛知県
364	K-7-3	発症から10年以上経過し徐々に回復がみられる脳幹出血四肢麻痺の一症例	小野佑輔	尾野病院	青森県
365	K-7-4	落葉状天疱瘡・急性腎不全によりADL全介助から自立し自宅退院となった症例 ～腹臥位療法からの課題指向型アプローチに着目～	高橋満智子	竹川病院	東京都
366	K-7-5	右前頭葉脳挫傷・急性硬膜下血腫を呈し、1年以上経過後より劇的な回復をみせた一症例 ～要介護5から要介護2へ～	玉谷高広	原田内科	徳島県
367	K-7-6	リハビリ算定日数を超えたが自宅退院につながった症例	伊東貴広	石巻港湾病院	宮城県
368	K-8-1	摂食拒否を示す患者へのアプローチ	坂本功司	京都南西病院	京都府
369	K-8-2	「食事を楽しみたい」 ～頸椎性脊髄症患者の食事動作へのアプローチ～	北條雅義	鳴門山上病院	徳島県
370	K-8-3	復唱形式の発語練習を通して注意機能の賦活を認めた症例	石井智明	熱川温泉病院	静岡県
371	K-8-4	脳梗塞による失語症の患者への音楽療法の効果	大西みなみ	姫野病院	福岡県
372	K-8-5	独居COPD患者の自宅退院に向けた多職種協働による患者教育	多田光	あきしま相互病院	東京都
373	K-8-6	廃用による重度障害患者の自宅復帰を経験して	宮本真彦	福井リハビリテーション病院	福井県
374	L-1-1	認知症を伴うCVC挿入患者への自己抜去防止対策	藤原サイ子	南昌病院	岩手県
375	L-1-2	内服自己管理への取り組み ～アセスメントシートの作成をとおして～	柏木祥子	千里リハビリテーション病院	大阪府
376	L-1-3	血糖測定とインスリン注射のエラー防止対策	中谷雅美	新仁会病院	大阪府
377	L-1-4	胃瘻管理 ～胃瘻チューブの固定を試みて～	福島厚代	新仁会病院	大阪府
378	L-1-5	冬の空気乾燥への挑戦 ～気管カニューレ装着患者を乾燥から守るために～	西村真智子	外旭川病院	秋田県
379	L-1-6	尿留置カテーテルカフ水量管理の見直しと業者との連携	有松浩二	北九州津屋崎病院	福岡県
380	L-2-1	病床転換に関連した当院の事故の現状	浦田みゆき	南高井病院	愛媛県
381	L-2-2	介護療養病棟における医療安全の取り組み ～インシデント報告への意識覚醒～	平岡かよ	江藤病院	徳島県
382	L-2-3	グループホームにおけるリスクマネジメントへの取り組み ～安全な生活環境に向けた職員間での取り組み～	大西陽子	永生病院	香川県
383	L-2-4	事故予防を目指した業務改善の取り組み	浜田裕子	定山溪病院	北海道
384	L-2-5	全ての持参薬管理を薬剤師が実施する 薬学的管理および医療安全への取組み	中村由喜	恵信甲府病院	山梨県
385	L-2-6	入院患者の外泊・外出時の準備に関する取り組み ～あ！忘れちゃった！を防ぎたい～	中込美穂	りぼく病院	山梨県
386	L-3-1	療養病院における転倒・転落事故に関する集計から	岡田秀人	ベルビアノ病院	大阪府
387	L-3-2	4階病棟における移乗方法改善の研究 ～知恵と力を寄せ合って～	小村和美	鹿島病院	島根県
388	L-3-3	療養病床における表皮剥離への取り組みと効果	外村多真美	刈谷豊田総合病院 高浜分院	愛知県
389	L-3-4	介助時の骨折を予防するための取り組み ～「おむつ交換、体位変換チェックリスト」による解析～	竹中美花	池田病院	石川県
390	L-3-5	転倒を予防するために ～センサーマットを使用した予防策～	本川加織	中洲八木病院	徳島県
391	L-3-6	なぜ転倒・転落が起きるのか ～アセスメントスコアシートの活用～	佐々木暁子	友愛記念病院	北海道
392	L-4-1	進行期のパーキンソン症候群患者に対する声門閉鎖術の効果	山本敏之	福島寿光会病院	福島県
393	L-4-2	微酸性電解水の有効性に関する臨床的検討(第1報) ～有効塩素濃度と除菌効果について～	善本英一郎	奈良厚生会病院	奈良県
394	L-4-3	微酸性電解水の有効性に関する臨床的検討(第2報) ～有用性と手指への影響について～	福田千佳子	奈良厚生会病院	奈良県
395	L-4-4	療養型病院に持ち込まれた耐性菌は、半数以上が自然に消滅した	渡邊陽子	所沢ロイヤル病院	埼玉県
396	L-4-5	不必要な膀胱留置カテーテル抜去への取り組み(5年間を振り返って)	清水純子	南高井病院	愛媛県
397	L-4-6	当院での耐性菌に対する取り組み	元木由美	博愛記念病院	徳島県
398	L-5-1	排泄援助を主体とした、生活援助への取り組み ～排尿管理表を活用した個別的援助方法の獲得を目指して～	寺本真吾	原土井病院	福岡県
399	L-5-2	有吉病院における排泄ケアの取り組み ～排泄アセスメント法の統一と基本マニュアルの作成～	隈元敦美	有吉病院	福岡県
400	L-5-3	院内LANによる排泄ケア取組の学習(生きた排泄学の習得を目指して)	久家鶴江	北九州古賀病院	福岡県
401	L-5-4	排泄ケアを通して生活リズムの重要性を学んだ一症例	淵田阿季子	福角病院	愛媛県
402	L-5-5	2人でオムツ	大西恵美子	砺波サンシャイン病院	富山県
403	L-5-6	B.L留置カテーテル抜去を可能にする一つの考察 ～プロトコール活用して～	入江聖治	長田病院	福岡県
404	L-6-1	回復期リハビリ病棟における排泄援助の取り組み ～患者のサインを見逃さない～	稲田亜沙美	北九州古賀病院	福岡県

第20回日本慢性期医療学会・福井大会 演題発表一覧

	演題番号	演題名	発表者氏名	所属	都道府県
405	L-6-2	個別性を重視した排便コントロール	増田由美	すずかけ病院	静岡県
406	L-6-3	オーブオイルによる排便コントロールを試みて ～3ヶ月間の便性状の調査を行って～	内田万理	長田病院	福岡県
407	L-6-4	腹部マッサージによる長期臥床高齢者の便秘への取り組み	山村富志子	福岡輝栄会病院	福岡県
408	L-6-5	おなかスッキリ自然な排便 ～介護士としてできること～	平野敦士	若杉病院	福岡県
409	L-6-6	患者様の尊厳に重点を置いた排泄ケア ～排泄から現場が変わる～	江藤裕子	慈英病院	宮崎県
410	L-7-1	当院におけるオムツ交換車改良の取り組み	形部良一	江藤病院	徳島県
411	L-7-2	オムツのコスト管理で一石三鳥 ～三年間で、150万円節約したコスト管理法とその相乗効果～	中野哲史	奈良東病院	奈良県
412	L-7-3	そのパットって本当に必要なの？	浅野知成	熱川温泉病院	静岡県
413	L-7-4	快適なおむつの当て方の工夫	山口徹	富家病院	埼玉県
414	L-7-5	尿吸引ロボヒューマニーを活用した介護負担軽減と尿による汚染の低減の検討	鈴木未央	ユニ・チャーム株式会社	香川県
415	L-8-1	働きやすい職場環境を目指して ～千葉県看護協会看護職のWLB推進ワークショップを通して～	中島恵美子	総泉病院	千葉県
416	L-8-2	介護科臨床指導委員会の取り組み ～職員定着と教育との関連について～	鈴木洋子	新富士病院	静岡県
417	L-8-3	当院における歯科衛生士の腰痛調査	谷口篤司	嵯峨野病院	京都府
418	L-8-4	離職率低下に繋がった職場労働環境整備と今後の課題	山口洋子	宮本病院	茨城県
419	L-8-5	療養病棟職員のストレスケア ～バーンアウトになる前に～	岩上真理香	富士小山病院	静岡県
420	L-8-6	「心の健康問題による休職者」に対する復職リハビリテーションシステム確立への取り組み	板川幸子	加治木温泉病院	鹿児島県
421	M-1-1	急慢連携活動を通じて見えてきたもの ～慢性期病院からの方向性～	黒岩幹夫	永生病院	東京都
422	M-1-2	「救命救急センターから慢性期病院への早期患者受け入れの取り組みについて」	小林裕恵	鹿島病院	島根県
423	M-1-3	長期急性期を目指して ～当院の現状分析～	佐藤沙代莉	弥刀中央病院	大阪府
424	M-1-4	地域のニーズと慢性期病院の役割についての調査	岡美佑紀	鹿島病院	島根県
425	M-1-5	療養病床と介護保険施設の連携 ～過去5年間の入退院実績から～	桑原和也	札幌西円山病院	北海道
426	M-1-6	MSWからみた医療・介護連携の課題とあるべき姿	加藤充子	美原記念病院	群馬県
427	M-2-1	当院地域連携室の活動 ～訪問活動を通して～	柴亀矢	国分中央病院	鹿児島県
428	M-2-2	在宅療養支援としての機能充実に向けての取り組み ～理想とする病床シートの活用～	中谷悦子	中谷病院	兵庫県
429	M-2-3	地域を支える在宅医療への取組み	田中修	加藤病院	島根県
430	M-2-4	医療区分の高い利用者へのケアマネジメント ～在宅生活を継続していくために～	佃友子	福井リハビリテーション病院	福井県
431	M-2-5	当院における神経難病患者さまへの医療サービス	菊地攻	定山溪病院	北海道
432	M-2-6	AIDS/HIV患者に対する慢性期病院の現状 ～慢性期病院へのアンケート調査を実施して～	伊藤正一	大久野病院	東京都
433	M-3-1	患者の重度化と在宅復帰への取り組み	木下真妃枝	福井リハビリテーション病院	福井県
434	M-3-2	ニーズの把握と活用を目指して	林真由美	総泉病院	千葉県
435	M-3-3	当院長期入院患者が抱える社会的問題の実態 ～医療区分偏重と高齢者の住まい多様化社会における単身・貧困・無住居患者の居場所～	川口恵生	小山田記念温泉病院	三重県
436	M-3-4	退院調整におけるMSWの役割を考える ～A氏の事例を通して～	中村聖子	北斗わかば病院	静岡県
437	M-3-5	ケア付き高齢者住宅併設クリニック事務職員の多様な役割	海老澤裕子	聖隷クリニック南大沢	東京都
438	M-3-6	クリティカルパスを活用し在宅復帰を果たした1症例 ～淡路圏域での取り組みもふまえて～	上田悠司	東浦平成病院	兵庫県
439	M-4-1	介護量が多い患者様に対する退院支援 ～外泊体験による不安解消へのアプローチ～	中田育美	鳴門山上病院	徳島県
440	M-4-2	医療依存度の高い患者様の在宅退院に向けての支援 ～家族の想いを叶える～	田井能恭子	南高井病院	愛媛県
441	M-4-3	柴田病院式早期からの退院支援の効果 ～家族と病院を繋げるMSWとしての早期介入がもたらすもの～	梅津奨	柴田病院	岡山県
442	M-4-4	療養病棟における在宅復帰を目指した家族支援 ～経管栄養や吸引が必要な患者、家族と関わって～	岩崎知巳	安来第一病院	島根県
443	M-4-5	療養を支える家族との連携のために	渥美加寿子	北斗わかば病院	静岡県
444	M-4-6	介護負担量が多い患者の退院支援について考える ～A氏の事例から～	原田雅子	北斗わかば病院	静岡県
445	M-5-1	退院調整活動における患者の満足について考える ～A氏の事例より～	鈴木涼子	北斗わかば病院	静岡県
446	M-5-2	家族のニーズを取り入れた離床へのアプローチ	岡美幸	鶴巻温泉病院	神奈川県
447	M-5-3	足部の熱傷治癒遅延から壊死に至った患者との関わり ～妻の死を乗り越えて～	阿部垂由美	竹川病院	東京都
448	M-5-4	心のケア ～最愛の母へ「ありがとう」が伝えたくて～	市倉千恵	昭和病院	山口県
449	M-5-5	多職種による病棟カンファレンスに参加した家族の意識調査	新井さとみ	秩父生協病院	埼玉県

第20回日本慢性期医療学会・福井大会 演題発表一覧

	演題番号	演題名	発表者氏名	所属	都道府県
450	M-5-6	患者サービス向上への取り組み	内田孝史	国分中央病院	鹿児島県
451	M-6-1	在宅復帰に向けた多職種によるチームアプローチ ～患者・家族の思いに寄り添って～	藤本洋子	高知病院	高知県
452	M-6-2	「患者へのアプローチが家族を変える ～退院支援を通して」	阿部めぐみ	石巻港湾病院	宮城県
453	M-6-3	「おかえり！お母さん」 ～自宅退院に向けてのチームアプローチ～	山崎慎一	高島病院	佐賀県
454	M-6-4	脳膿瘍・脳室炎後の廃用症候群から在宅退院できた1症例	荒井深名子	白澤病院	栃木県
455	M-6-5	在宅生活の実現に向けて	成木美奈	永生病院	香川県
456	M-6-6	デイケアでのトイレ動作改善に向けた介護とリハビリの連携 ～小さな「できた！」の積み重ねが大きな「できた！」の実を結ぶ～	吉田典子	春江病院	福井県
457	M-7-1	人工呼吸器装置ALS患者の離床に向けての取り組み ～「人間らしく生きて欲しい」家族の思いに答えるため～	中野智啓	光風園病院	山口県
458	M-7-2	慢性期医療における病棟が担う役割 ～退院困難事例を通して学んだこと～	奥野あかね	泉ヶ丘病院	福井県
459	M-7-3	医療療養型病棟における神経変性疾患患者への在宅に向けた援助	米本明美	玉島病院	岡山県
460	M-7-4	訪問看護ステーションにおける看護職とリハビリ職の情報共有についてのアンケート調査	岩田康和	小林記念病院	愛知県
461	M-7-5	「がん末期の訪問リハビリテーションに関する一考察」 ～終末期の訪問リハビリテーションの必要性について～	高岡洋介	大久野病院	東京都
462	M-8-1	脳卒中者への訪問リハビリが歩行能力に与える影響	荒尾雅文	永生病院	東京都
463	M-8-2	2年間の訪問リハが運動認知機能維持にどの程度貢献するか	横串算敏	札幌西円山病院	北海道
464	M-8-3	ADLの介護量軽減を目標に福祉用具、身体機能両面よりアプローチした事例 ～リスク回避の提案と課題～	柴田恵佑	池端病院	福井県
465	M-8-4	意欲・活動性の低下した症例への訪問OTの取り組み ～機能的介入と作業的介入での変化～	日高陽一	大宮共立病院	埼玉県
466	M-8-5	身体障害者の自動車運転の実態 ～訪問リハビリテーション利用者の運転に同乗して～	岩佐賀朗	総泉病院	千葉県
467	M-8-6	在宅復帰にむけた取り組み ～歩行の次の段階へ～	片瀬敦史	老健リハビリよこはま	神奈川県
468	N-1-1	医療療養病床におけるNSTのあり方と今後に向けて	清水幸子	鶴巻温泉病院	神奈川県
469	N-1-2	経腸栄養患者の生命予後について	厚東篤生	よみうりランド慶友病院	東京都
470	N-1-3	経管栄養の投与量と体重・採決データの変化	佐々木由美	総泉病院	千葉県
471	N-1-4	褥瘡と栄養	六門麻由	浜寺中央病院	大阪府
472	N-1-5	認知機能の低下と食事摂取量 ～当院入院患者の特徴～	沼岡史子	札幌西円山病院	北海道
473	N-1-6	NSTにおける業務手順の見直し ～患者様によりよい栄養ケアを～	吉田友香	鳴門山上病院	徳島県
474	N-2-1	寝たきり経管栄養患者の投与とカロリー・栄養状態の実態 Harris-Benedict(HBB)式算出量との比較検討	遠藤かほる	バトレヘムの園病院	東京都
475	N-2-2	日本におけるMNA-SF®の基礎的研究 CC測定法の確立に向けて	長谷川正光	刈谷豊田総合病院 高浜分院	愛知県
476	N-2-3	療養病棟における栄養スクリーニング方法としてMNA-SFは有効か	野本達哉	永生病院	東京都
477	N-2-4	貧血改善にむけての取り組み	中川美里	弥刀中央病院	大阪府
478	N-2-5	悪心・嘔吐予防のケアを通して ～水先投与の試み～	外間こずえ	大浜第二病院	沖縄県
479	N-2-6	経管栄養に関する業務改善の1例 ～加圧バッグの導入～	奥園寿美子	国分中央病院	鹿児島県
480	N-3-1	当院におけるPICC(末梢挿入中心静脈カテーテル)の実態	武岡陽子	世田谷記念病院	東京都
481	N-3-2	当院を退院し、介護施設に入所する際に役立つ【栄養情報提供書】とは？	佐藤清美	新京浜病院	東京都
482	N-3-3	明らかな原因のない嘔吐を繰り返す症例に対し、半固形化栄養食を用いた一例	田邊薫	永生病院	東京都
483	N-3-4	誤嚥性肺炎を繰り返す患者へ流動注入形態を検討する (液体栄養剤の持続投与は有用か)	米倉麻衣子	原病院	福岡県
484	N-3-5	経口摂取が困難な患者に対する経口サポートチームの活動	辻裕也	洞爺温泉病院	北海道
485	N-4-1	「人」として食事を楽しむために	細谷美穂	老健リハビリよこはま	神奈川県
486	N-4-2	大切な思いを変えない連携づくり ～小規模多機能センター介護の取り組み～	加地文子	北淡路病院	兵庫県
487	N-4-3	付加食による食思・ALB改善 ～新しい付加食にて摂取栄養量up、ALB改善を目指す～	大塚翔	緑成会病院	東京都
488	N-4-4	食事摂取量改善への取り組み ～個別対応の必要性～	宮尾知住	東浦平成病院	兵庫県
489	N-4-5	個人別摂取栄養素レポートシステムの効果	福田絵理	千里リハビリテーション病院	大阪府
490	N-4-6	「笑食・快膳」をめざして当院における「食」への取り組み	中村栄子	花の丘病院	三重県
491	N-5-1	ソフト食導入後の現状と今後の課題	長谷川愛	上條記念病院	長野県
492	N-5-2	ソフト食への取り組み ～大量調理での導入を試みて～	恩部真梨子	安来第一病院	島根県
493	N-5-3	大井苑のソフト食の進化	森友紀	特別養護老人ホーム 大井苑	埼玉県
494	N-5-4	高齢者ソフト食導入をめざして ～STEP3 献立作成～	佐藤美里	草津こまくさ病院	群馬県

第20回日本慢性期医療学会・福井大会 演題発表一覧

	演題番号	演題名	発表者氏名	所属	都道府県
495	N-5-5	高齢者における適切な食材の大きさについて	押尾秀美	総泉病院	千葉県
496	N-5-6	摂食訓練用食材の改善への挑戦 ～口から食べる楽しみを求めて・調理師の立場から～	米倉知子	高島病院	佐賀県
497	N-6-1	在宅胃瘻栄養患者への栄養フォロー ～家庭でできる胃瘻栄養～	濱崎裕司	博愛記念病院	徳島県
498	N-6-2	HSウォーター粉末・分包化への取り組み	長尾優子	博愛記念病院	徳島県
499	N-6-3	食思不振患者様へのアプローチ	形田美子	北淡路病院	兵庫県
500	N-6-4	タイミングを見計らった栄養補給法の選択 ～食べられなくなるその前に～	加藤智美	京都南西病院	京都府
501	N-6-5	ターミナル期の食事の関わり	松村由佳	嵯峨野病院	京都府
502	N-7-1	経口摂取を継続していただく為の取り組み	松井智子	嵯峨野病院	京都府
503	N-7-2	経管栄養から経口摂取へ"人として食を楽しむ" ～おいしいー、あんたもたべなァ～	津田梨絵奈	すずかけ病院	静岡県
504	N-7-3	経口摂取の取り組み～患者さんの笑顔がみたくて～	佐藤恵子	長島中央病院	三重県
505	N-7-4	「米農家だからコメが食べたいんだ！」 経管栄養から米飯への取り組みで学んだ事	小黒由香	苫小牧東病院	北海道
506	N-7-5	胃ろうから経口摂取へ ～「食べる環境」を整える～	中川亜弥実	信愛病院	東京都
507	N-7-6	介護老人保健施設における摂食・嚥下評価 -Videofluoroscopic Examination of Swallowingを通して-	齋藤紋香	介護老人保健施設 アルボース	群馬県
508	N-8-1	嚥下体操の導入とその効果について	國貞佑子	南淡路病院	兵庫県
509	N-8-2	HOT(在宅酸素療法)のご利用者が安心してデイサービスをご利用いただくための 呼吸器ケアチームの取り組み	内海真紀	石巻港湾病院	宮城県
510	N-8-3	その人らしさを取り戻す為のケア ～背面開放座位の効果～	加藤悠美	刈谷豊田総合病院 高浜分院	愛知県
511	N-8-4	嚥下困難患者の食事介助について看護師・介護士が感じる困難	甲斐望美	香椎原病院	福岡県
512	N-8-5	ターミナル期にある患者への口腔ケアの取り組みを行って	大場織枝	安来第一病院	島根県
513	N-8-6	在宅生活における口腔ケアの取り組み	石井真夏	加治木温泉病院	鹿児島県